

主な内容

2面	環境教育の推進 セーフティ教室
3面	合同校舎型小中一貫校検討 結果地元報告会 道徳授業地区公開講座
4面	公民館は自由なひろばです 小学校2011年度教科用図書展 示会

まちだの教育

2010年
6月21日
No. 76



発行:町田市 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-0022 町田市森野1-33-10 MACHIDA TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>



▲鎌倉時代～室町時代にかけて武士階級が使った建物の大型竪穴状遺構

今年の2月と5月に、東京都史跡小山田1号遺跡(小山田桜台2-16-32)において遺跡が破壊されているのが発見されました。直径10〜20cmの穴が数ヶ所開けられたり、施設の一部が壊されたりしました。また、小山田1号遺跡では、これまでも花火や焚き火、落書きなどがされていました。



▲多くの穴が開けられている



▲遺跡に穴を開けられた跡



文化財を大切に!!

～小山田1号遺跡が被害に～

こつたため、今回は警察へ被害届を提出しました。文化財はみんなで守り後世に伝えていかなければならない大切なものです。市でも巡回等を強化しますが、もし不審な行動をしている人を見かけたら、警察への通報等ご協力をお願いいたします。

小山田1号遺跡は鎌倉時代～室町時代にかけての武士の屋敷跡で、発掘調査当時のままの姿で保存され、自由に見学することができません。崖を切り崩し、幅50m、奥行15mほどの平坦面をつくりだし、ここに12m×6m、深さ1mの特大の竪穴状遺構(床面積54㎡、畳30枚分の広さです)や桁行4間(約8m)×梁行2間(約4m)の掘立柱建物跡などを建て、屋敷地としていました。

連載

町田市の文化財をご存知ですか

第1回 田端環状積石遺構(都指定史跡)

田端環状積石遺構は、1968年に畑を耕作中に偶然発見された縄文時代後～晩期(約3500～2800年前)の墓地、祭祀場であり、都内で唯一見学できるストーンサークルです。30基の墓からなる集団墓地が形成された後、その上に人の頭ぐらいの大きさの石を積み上げて9×7mのストーンサークルがつけられました。現在は実物を埋め戻して保存し、その上にレプリカによる復元がされています。

【所在】 小山町3112-2 ほか

【見学】 随時、無料、駐車場はありません。

【案内】 多摩境駅より多摩ニュータウン通りを町田街道方面に歩いて約5分。通り沿いで進行方向に向かって右手にあります。



町田の伝承を 後世に伝えます

町田の伝承シリーズは、町田に根ざし、受け継がれている民話などの無形文化財を後世に伝えるため、1968年に刊行された「町田市の文化財第6集 民話・伝承特集号」をもとに増補、改訂し、町田市文化財保護審議会にて資料収集した上で執筆、編集されました。同シリーズは、1997年から継続的に刊行しており、本年4月17日に刊行された「年中行事」で5冊目となっています。これを期に町田に受け継がれてきた伝承にふれてみませんか。



▲町田の伝承シリーズ

刊行物	刊行年	価格	主な収録内容
「町田の民話と伝承 第一集」	1997年	500円	主に人物、生活、信仰などに関連する民話
「町田の民話と伝承 第二集」	1998年	500円	主に史跡、自然、動植物、妖怪・変化などに関連する民話
「町田の伝承 こどもの遊び」	2000年	300円	昭和30年代の12歳以下のこどもの遊び、遊戯歌
「町田の伝承 町田の方言と俗信・俗謡」	2004年	500円	町田がまだ都市近郊の農村だった時期に使われていた言葉、唄
「町田の伝承 年中行事」	2010年	300円	地域ごとに継承されてきた伝統としての行事

販売場所		
市政情報やまびこ	中町1-25-14中町分庁舎	☎724-8407
自由民権資料館	野津田町897	☎734-4508
市立博物館	本町田3562	☎726-1531
生涯学習課	森野1-33-10	☎724-2554



ごあいさつ 教育長 洪谷友克



このたび、市議会の同意をいただき、山田前教育長の後任として、4月1日付で教育長に就任いたしました。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、二十一世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われております。知識は、多種多様なメディア等を通じて常時、大量に提供される情報や瞬時に互いの情報を交換できる情報ネットワーク環境によって、絶え間なく生み出され変化し続けています。

こうした社会を生きる子どもたちには、単に知識や技能を習得するだけではなく、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、変化の激しい社会を主体的にたくましく生きる力を育てていく必要があります。

また、そのような社会状況の中で、諸課題を学ぶ場

- 一 子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成
- 二 学校の教育力の向上
- 三 家庭、地域、学校が連携した教育の推進
- 四 生涯学習の推進

今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

〈渋谷友克教育長プロフィール〉

○昭和24年生まれ 61歳
○昭和48年町田市就職、企画部財政課長、企画部参事、新庁舎担当部長などを経て平成19年4月から総務部長。